

子どものための哲学対話

7/29 (土) 11:00-12:00 ワークショップ
(受付開始 10:30)

- ところ** 田原市中央図書館 と しょ かん こどもしつ おはなしのへや
- 対象** 小学生・中学生ならだれでも! ※保護者の方は同室内で見学いただけます。
(子どもだけの参加も、保護者同伴の参加でも、どちらでも OK!)
- 定員** 20 名 ようもうしこみ おりよう (要申込/無料) **主催** 田原市図書館サポーターズ おおきななかぶ
協力: 田原市図書館
- 申込み/問合せ** 田原市中央図書館 ☎(0531) 23-4946 ✉tosho@city.tahara.aichi.jp
お申込み時に「名前、学校名、学年、保護者同伴の有無」の 4 点をお知らせください。

どんなことをするの?

子どもたち自身が日頃、気になっている「問い(テーマ)」を、子どもたちみんなできょうゆう共有し、それぞれの考えや思いを伝えながらいっしょに「答え」を探す時間を過ごしてみます。
(でも、きっと、時間内に答えはでない。それで OK!)

<哲学対話すると、どうなるの?>

- ・”自分はこんなふうに思っていたんだ”という新たな気づきや発見があるかも
- ・相手の考えや問いを聞いてどういうことか、気持ちを知らうとすることが、わかるかも
- ・友だちや自分の考えていることって面白いかも!

アドバイザー
中西秀一

南山大学文学部哲学科で道徳論(善い、悪いってどういうことか)を学びました。田原市社会福祉協議会に勤めて 23 年。妻、子ども一人です。趣味はウルトラマラソンです。



どうして勉強しなくちゃいけないの?

進め役 A

大久保邦恵

田原市生まれ。NLP(神経言語プログラミング) 心理学トレーナー。人と企業の未来をカタチにするためのコーチング、コミュニケーションセミナーなど開催。猫好き。



【ワークショップの流れ】

- ① 自分が気になっている「問い」をみんなに伝える(どんなことでも、何個でも、OK!)
- ② みんなの「問い」が出そろったら、その中からみんなでより深く考えたい「問い」を一つえらぶ。
- ③ その「問い」について、自分の考えや思いをみんなに伝える。
- ④ おわりの時間が来たら、そこで対話はおわり。(一つの答えにまとめる必要はなし!)
ふりかえりの時間
(哲学対話ってどうだった? 面白かった? 発見はあった? など)

大人は本当に正しいの?

ごはんのかわりにお菓子を食べてもいいじゃん!

うそは絶対にダメ?

宿題はなんでやらなくちゃダメ?

おかあさんはなんでいつも怒るの?

進め役 B 内浦有美

名古屋大学教育学部心理社会行動コースでアイデンティティ(その人は何によって形作られているのか)を学びました。その後キャリア教育の評価研究員などを経て、独立。ばったり堂代表、『豊橋妖怪百物語』著、等。

